



古河二中だより

学校便り No.12 令和3年12月24日
在籍生徒数 607名

第2学期終業式を行いました！

12月24日（金）校庭にて第2学期終業式が行われました。コロナ禍の中で試行錯誤し教育活動を行ってきた1年でした。新型コロナウイルス感染症の感染リスクを考え、学校として古河市教育委員会、学校医、保健所の指導・助言のもと新型コロナウイルス感染症対策を万全を期してまいりました。学校長からの話がありました。



令和3年度 第2学期 終業式あいさつ
「古河二中魂がすばらしかった！」

校長 栃木 円

今日の12月24日（金曜日）まで、毎日「新型コロナウイルス感染症対策」を行い、本日まで生徒の皆さんの元気な姿を見ることができ、とてもうれしく思います。そして、周囲の人たちにも気を配りながら、検温、手洗い、消毒、マスク着用などの「基本的な感染症対策」と「3密を避ける工夫」を行い、「命を守ること」を最優先して、ルールを守ってきちんとした生活ができました。ありがとうございました。特に、鴻の鳥祭（全校造形・合唱コンクール等）では、大きな感動を与えてくれました。これこそ「古河二中魂」だと思います。生徒会役員や実行委員を中心に色々と工夫・改善をしながら、一人一人の生徒の皆さんが真剣に取り組み、大成功を収めることができました。

さて、3年生にとっては、中学校最後の冬休みです。進路も目の前に迫ってきました。「努力をして結果がでると自信になります。努力もしないで結果がでるとおごりや油断が生まれます。努力もしないで結果がでないと、後悔が残ります。」努力をして進路実現に向かって、頑張ってください。1, 2年生も学力向上のために計画を立て努力しましょう。

最後に、間もなく新しい年を迎えます。期待と希望に胸を弾ませて、新年をスタートしたいと思います。どうぞ、よい年をお迎えください。そして、令和4年1月11日の始業式を、元気に登校しましょう。終わります。

生徒代表発表（2学期の反省）



1年2組 長倉 優心

2学期は3学期の中で最も長い学期といわれています。そしてこの2学期のスタートはオンライン授業になってしまい、長い夏休みが明けてもみんなに会えなくて寂しく、コミュニケーションのとり方を忘れてしまいそうになりました。10月になって、ようやく通常登校に戻り、学校の友達に会えて、とてもうれしかったです。

しかし、僕の中でまたみんなと仲良く話すことができるのか不安でしたか、一週間もすれば普通に話すことができるようになっていました。やっぱり、直接会って話すことが一番だと感じました。そして、10月の鴻の鳥祭での合唱コンクールでは、クラスのみんなと一致団結して取り組むことができました。結果は入賞できませんでしたが、すばらしいクラスの絆を得ることができました。

この4ヶ月を振り返ると、とても充実した期間であったので、あっという間に終わってしまいました。3学期は2年生になるための準備期間なので冬休み中にこれまでの生活、勉強をしっかりと行って有意義な冬休みを送り、最高の3学期を迎えたいと思います。



2年1組 小倉 鈴

私は2学期に頑張ったことと反省することが3つあります。1つ目は鴻の鳥祭の合唱です。最初は全然上手ではなかったですが、たくさん練習してレベルアップできました。その結果銀賞をとることができました。とても感動しました。

2つ目は勉強です。2学期になり覚えることも増え、テストの点数が下がってしまいました。そこで、勉強量を増やしました。特に、国語の漢字を毎日丁寧に正確に覚えるようにしました。そのおかげで、少し点数が上がりました。やった分だけ結果が返ってきてうれしかったです。

3つ目は部活です。私は野球部の副キャプテンですが、みんなをまとめることが上手くできませんでした。自分では、みんなをまとめられるように考えていますが、なかなか上手くいきません。まずはその原因をつきとめるために、冬休みにゆっくり考えていきたいと思います。

3学期の目標は健康です。つい最近、自転車で転んで、足をけがしました。それで今は部活ができない状態です。本当は体をたくさん動かして、野球をやりたいです。やっぱり健康はしみじみ大事だと思いました。まずはゆっくりして、体を治したいと思います。みなさん、先生方も健康第一に考えて、元気に3学期を乗り越えて行きましょう。



3年3組 海老名 瑛生

一番長いと思っていた2学期も終わりになり、あっという間に冬休み、そして3学期になってしまいます。私はそんな2学期を振り返って成長できたと感じる時間だったと思います。

受験生の私たちにとって重要な長い夏休みが終わり始まった2学期。2学期には勉強はもとろんのこと、合唱コンクールや修学旅行といった学校行事などが盛りだくさんでした。合唱コンクールでは、生徒が主体となり、クラス、学年、二中全体が協力し、3年間で一番よかったと思える合唱コンクールにすることができました。また、昨年は行けなかった修学旅行ですが今年は、行き先を変更するという形で実施することができました。先生方、保護者の方々、その他のの方々のご協力ののもと、長野県で中学校生活全ての思い出の中でもNo.1と言える程の思い出になりました。先生方、本当にありがとうございました。

そんな楽しい学校行事の中、私たちに現実を突きつけてきたものがあります。そう、受験勉強です。徐々に受験に近づいていく中で、苦手な教科の点数が上がったり、全体的に伸び悩んだりと様々な感情が交錯しました。そんな中で私は2学期が始まる時に立てた苦手にしている教科への苦手意識をなくすこと、毎日少しでも勉強することという2つの目標を達成すべく毎日受験勉強に取り組みました。毎日継続することで苦手意識も薄まり、自分への自信へとつながっていきました。そんな辛い受験勉強ですが、最後まで学年全体で切磋琢磨して取り組んで行きたいと思っています。

冬休みが明け、3学期になると一気に受験色に染まっていき、早いところでは冬休みの間に試験が始まります。そんな私たちの中学校生活ですが、悔いを残さないで当日に臨めるように精一杯自分自身と闘いたいと思います。先生方、最後の3学期よろしくお願ひします。

**コロナ禍の中
本気で挑んだ君たちはすばらしい！**

